

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会  
2004 年秋の大会 総会議事  
(2005 年 9 月 15 日 12 時～13 時 D 会場)

議 事 次 第

1. 部会長挨拶 内田滋夫 (放医研)
2. 部会規約の改正について (資料 1)
3. 部会の体制について (資料 2)
4. 2005 年部会企画について (資料 3)
5. ICRP 調査研究連絡報告会について (資料 4-1、資料 4-2)
6. 部会主催・共催シンポジウム等について (資料 5)
7. 2006 年春の年会以降の部会企画等について (資料 6)
8. 日韓サマースクールについて
9. 委員会報告
10. その他
11. 副部会長挨拶 飯田孝夫 (名大) 本間俊充 (原研)

以上

## 部会規約の改正について

### 保健物理・環境科学部会規約

---

(2000年1月27日 第419回理事会承認)

(2005年 月 日 第 回理事会改定承認)

専門分野別研究部会規程(規定第11号)により、保健物理・環境科学部会を本規程により設置運営する。

#### (目的)

第1条 保健物理・環境科学部会(以下本部会)は、原子力に関連した保健物理・環境科学分野の研究者間の研究交流と情報交換を積極的に行うとともに研究活動を支援し、その発展に貢献することを目的とする。

#### (部会員)

第2条 学会正会員および学生会員は本部会員となる資格を有する。

第3条 本部会に参加を希望する会員は、所定の事項を記入した入会申込書に部会費を添えて、事務局に申し出る。なお、退会の際はその旨を事務局に通知する。

#### (運営費、部会費)

第4条 本部会の運営費には、部会費、事業収入、寄付その他をもってあてる。

第5条 運営費については、企画委員会部会等運営委員会を経て理事会に報告し、その承認を得ることとする。

#### (総会)

第6条 総会を年1回以上開催し、本部会の事業、予算、運営等重要事項について承認を得るものとする。

#### (運営)

第7条 本部会の運営は、学会正会員の本部会員より選ばれた部会長1名、副部会長2名および委員若干名からなる運営委員会が行う。経常的な運営は部会長、副部会長および委員の中から選ばれた幹事若干名からなる常任委員会が専ら行うが、重要な事項については運営委員会の議を経て行うこととする。運営委員の任期、選考方法などは別に定める。

第8条 事業の実施のため、運営委員会のもとに小委員会を設けることができる。

#### (事業)

第9条 本部会は次の事業を行う。

- ( 1 ) 本部会の活動や研究関連の情報を提供するためのニュースレターを随時発行する。
- ( 2 ) 研究会、セミナー、講演会、講習会、見学会等を適宜開催する。
- ( 3 ) 必要に応じて、研究、調査及び評価等のための小委員会を組織し、研究者間の交流と関連分野の研究活動を活性化する。
- ( 4 ) 関連する研究専門委員会、特別専門委員会等の活動を積極的に支援する。
- ( 5 ) 関連する国内外の学協会、諸機関との共催による研究集会の企画、実施を行い、国内および国外協力研究を積極的に進める。
- ( 6 ) その他、適切な事業は随時、実施する。

( 変更 )

第 1 0 条 本規約の変更は、運営委員会の発議に基づき、総会での承認を要する。

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会  
第 3 期 (2004 ~ 2005 年度) 委員名簿

## 【役員】

部会長 ; 内田滋夫 (放医研)  
副部会長; 飯田孝夫 (名大)  
副部会長; 本間俊充 (原研)  
会計監査; 宮崎振一郎 (関電)

## 【運営委員】24 名 幹事 12 名

天野光 (原研) 飯田孝夫 (名大) 生瀬博之 (三菱マテリアル)  
植頭康裕 (サイクル機構) 内田滋夫 (放医研) 占部逸正 (福山大)  
小川喜弘 (近大) 金子正人 (放影協) 木名瀬栄 (原研)  
小佐古敏荘 (東大) 下道国 (藤田保健衛生大) 杉浦紳之 (近大)  
塚田祥文 (環境科研) 外川織彦 (原研) 服部隆利 (電中研)  
福井正美 (京大) 二ツ川章二 (RI 協会) 本間俊充 (原研)  
三浦太一 (高工研) 宮崎振一郎 (関電) 山澤弘実 (名大)  
山西弘城 (核融合研) 山本英明 (原研) 米原英典 (放医研)

## 【事務局】

高橋知之 (京大) 飯本武志 (東大)

## 【学会委員】

部会等運営委員	杉浦紳之 (近大)	2004 ~ 2006 年度
学会誌編集委員	山本英明 (原研)	2003 ~ 2005 年度
	服部隆利 (電中研)	2004 ~ 2006 年度
	米原英典 (放医研)	2004 ~ 2006 年度
学会プログラム委員	山西弘城 (核融合研)	2002 ~ 2004 年度 ( ~ 2005 年秋 )
	植頭康裕 (サイクル機構)	2005 ~ 2007 年度 (2006 年春 ~ )
	木名瀬栄 (原研)	2005 ~ 2007 年度 (2006 年春 ~ )
日韓サマースクール運営連絡会担当		
	飯本武志 (東大)	2005 ~ 未定

## 2005 年部会企画について

## 2005 年春の年会

## 1. 総合講演 (保健物理・環境科学部会)

「討論: 保健物理・環境科学研究における若手研究者の夢」(3月29日(火) 13:30~16:00, A会場)

座長: (原研)木名瀬栄、(京大)高橋知之

- |                                   |                  |
|-----------------------------------|------------------|
| (1)保健物理・環境科学研究の期待と抱負              | (原研)木名瀬栄         |
| (2)リスク認知研究                        | (文化女子大)斎藤聖子      |
| (3)放射性廃棄物研究                       | (電中研)佐々木道也       |
| (4)環境放射能研究                        | (環境科研)柿内秀樹       |
| (5)放射線検出器の研究開発                    | (富士電機)布宮智也       |
| (6)放射線管理の研究                       | (JNC)高田千恵        |
| (7)内部被ばく研究                        | (原研)横山須美         |
| (8)外部被ばく研究                        | (原研)高橋史明         |
| (9)放射線校正場の研究                      | (産総研)黒澤忠弘        |
| (10)放射線治療研究                       | (三菱総研)船曳淳        |
| (11)宇宙放射線研究                       | (放医研)保田浩志        |
| (12)日本の保健物理・環境科学研究に対するロシア若手研究者の期待 | (放医研)セルゲイ・トルマチョフ |
| (13)日本の保健物理・環境科学研究に対する中国若手研究者の期待  | (JNC)夏曉彬         |
| (14)日本の保健物理・環境科学研究に対する韓国若手研究者の期待  | (放医研)金ウンジュ       |

## 2. 総合講演 (保健物理・環境科学部会主催, 社会・環境部会協力)

「公開討論「放射線教育の現状と課題」(一般公開) (3月31日(木) 13:00~16:00, A会場)

座長: (RI協会)二ツ川章二、(東大)飯本武志

- |   |                     |
|---|---------------------|
| (1) 放射線教育の現状; 各機関・組織の活動報告                         |                     |
| (2) 放射線教育の成果分析; 原文振による 1900 名の生徒(中学生)アンケート分析結果の紹介 |                     |
| 1)分析の背景と目的  | (原文振)藤井信幸           |
| 2)分析手法と結果   | (東工大)栗山直子           |
| (3)放射線教育の展望                                       |                     |
| 1)知りたがり始めた市民との交流から                                | (あるかエネルギーフォーラム)川西則子 |
| 2)中学・高校教諭の立場から                                    | (神大学付中・高)中山知恵子      |
| 3)原子力・放射線専門家の立場から                                 | (環境科研)石川敏夫          |
| 4)教育プログラムを立案、企画する立場から                             | (原文振)真壁佳代           |
| 5)興味を持ってもらう話し方とは                                  | (原電)小川順子            |
| (4)総合討論   |                     |

## 2005 年秋の大会

総合講演(保健物理・環境科学部会)

「原子力施設の環境影響評価における不確実性」(9月14日(木) 16:00~18:30 D会場)

講演 : 座長:京都大学 高橋知之

講演1「環境影響の不確かさ・感度解析」

日本原子力研究所      本間俊充

講演2「放射性廃棄物処分の環境影響評価における不確実性」

日本原子力研究所      木村英雄

講演3「一般重金属の土壌含有量基準に見る不確実性とその問題点」

京都大学                  米田 稔

講演4「環境移行パラメータの不確実性」

環境科学技術研究所      塚田祥文

討論 : 座長:名古屋大学 飯田孝夫

ICRP 調査研究連絡会（放射線影響協会主催）

ICRP 調査研究連絡会は毎回、運営委員からの推薦者およびニュースレターにより出席者を募っている。平成 17 年度第 1 回調査研究連絡会報告会は電力中央研究所の服部委員が、当部会の代表として出席した。

「平成 17 年度第 1 回調査研究連絡会 報告会」

日 時：平成 17 年 4 月 6 日

場 所：ホテルフロラシオン青山 2 階「芙蓉西」

〒107 -0062 東京都港区南青山 4 -17 -58

TEL:03 -3403 -1541（代）

報 告：2005 年 3 月 ICRP 主委員会の概要報告（佐々木康人委員）

ICRP 調査研究連絡会（放射線影響協会主催）

ICRP 調査研究連絡会は、ICRP 委員会が開催される前に、国内委員と関連学協会との意見交換会の機会を設けている。平成 17 年度第 1 回調査研究連絡会第 11 回連絡会は、放射線医学総合研究所の米原委員が、当部会の代表として出席した。

「平成 17 年度第 1 回調査研究連絡会 第 11 回連絡会」

日 時：平成 17 年 8 月 31 日（水） 13 時 30 分～16 時

場 所：財団法人放射線影響協会 大会議室

議 題：（1）前回議事概要確認

（2）2005 年 9 月開催の ICRP 委員会の予定議題等

（3）関係機関等からの意見

（4）その他

部会主催・共催シンポジウム等について

1) 保物セミナー2005

開催日：2005年10月24日～25日

場 所：大阪科学技術センター

主 催：保物セミナー2005 実行委員会

2) 第7回「環境放射能」研究会

2006年3月開催予定

2006 年春の年会以降の部会企画行事等について

「\*\*\*\*\*」

主催：保健物理・環境科学部会

趣旨（案）：

以上